

## とっておきイベント情報

	イベント名	会場/料金	連絡先
~12日(日) 20:00~21:00	月夜野ホテル観賞期間	上毛高原裏の ホテル観賞コース	みなかみ町観光協会 Tel 62-0401
4日(土) 14:00~	エンジョイ ゆかた気分 ゆかたをお持ちの方はご持参ください。	沼田市保健福祉センター 参加費 無料	NPO 法人こころの応援団 Tel 66-0999(千代田)
11日(土) 10:00~	サマースペシャルおはなし会 人形劇<ジャックと豆の木> ブラックシアター<さるむこ> 手話で歌おう「ともだちになるために」ほか	白沢公民館 2 階研修室	しらさわ 赤りんごおはなし会 白沢公民館 Tel 53-2291
20日(月/祝) 9:30~16:00	かんざん市 其の六	みなかみ町谷川 宿 筧山(かんざん)	ALGO(あるご) Tel 080-8423-3179
25日(土) 14:00~ 18:30~	映画「日本と原発」 主催 「日本と原発」利根沼田上映実行委員会	利根沼田文化会館 小ホール 鑑賞券 500 円	販売・取扱い ごたく広場 Tel 22-1760
29日(水) 9:30~11:30	うすねなかよしぶんこまつり 持ち物:帽子、タオル、出納、手提げ、カラーマーカーやクレヨン、鉛筆	薄根公民館 2 階大広間	うすねなかよしぶんこ 薄根公民館 Tel 22-3160
8月1日(土) 14:30~	やべみつのりさんの 「アニメーションをつくろう」	沼田市立図書館 4 階視聴覚室 無料。申し込み不要	沼田読み聞かせの会 沼田市立図書館 Tel 22-0550
8・9日(土)(日)	親子体験キャンプ 小中学生とその保護者 申込書に記入して7/26まで、HP からも申し込み可	みなかみ町宝台樹キャンプ場 小中学生 3500 円 大人 4500 円	NPO 法人 北風塾 Tel/fax 25-3535

## 利根・沼田人物伝【其の54】

### 利根川源流の自然を愛した小野伊喜雄

郷土史研究家 高山正

大正10年沼田市に生まれ、旧制沼田中学校を卒業すると、父が経営していた、宝川温泉「汪泉閣」を引き継ぎます。そして、利根川の源流域である藤原地区を庭のように歩き回りました。

温泉から往復9時間ほどの朝日岳へ登るのに「おい、行くぞ」とだけ言っておかける。散歩のようなもので「登山」という意識無く歩き回っていました。

昭和25年29歳の時、漁師から子熊を預けられたのを機に、育て始めました。人間の子にするように自らミルクを与え、抱いて育てました。これにより、宝川温泉は「クマと露天風呂に入れる」と、一躍有名になりました。

同じ頃、藤原地区の住民を中心にした「奥利根山岳会」を設立し、遭難者の救助や、登山道・道標の整備に尽力いたしました。

ダム建設が続き、故郷が水底に沈むことを憂え、県最北の山あいの風土を伝える活動に情熱を注ぎ、風習や文化の保存のため、住民らが地域の風習を記した『藤原風土記』を昭和38年42歳のとき出版。また、沈む家から道具類を集め、展示もしました。

昭和48年52歳、群馬県が行った奥利根の学術調査では、会員らをまとめ、険しい滝がいくつもある「秘境」源流域の案内や荷上げをする協力隊の責任者

を務め、テントやザイル、食料など、必要な資材をそろえる資金も援助しました。ある年の調査では、川が増水したため、一時遭難し、雪が大きな音を立てて隊員を驚かせ、動揺させましたが、小野伊喜雄が「大丈夫だ」と周りを落ち着かせました。奥利根を知り尽くした小野に隊員は助けられました。また、ある時は、小野伊喜雄が滑落して足を強打したが、歩き続けた。代わりに荷物を持つと周りのメンバーが気遣っても、「背負わせるくらいなら山に捨てる」と譲りませんでした。

昭和50年54歳、奥利根物産研究会を作り、自ら会長となり、奥利根に訪れる観光客などへの土産として、奥利根仙人などの地域に根ざした物産づくりに尽力いたします。

晩年は、奥利根の自然を大切に思う心を伝える『奥利根水源憲章』『奥利根水源憲章の歌』の制定に会長として深くかかわり、平成11年78歳、「俺に仕事は俺一代、利根川源流の男たち」と題し、藤原でたくましく生きた8人の男の生き様をまとめ上げました。

たぐい稀なる面倒見の良さ、いつになっても少年の心を持っていて、周りの人々に愛され続け、平成23年2月、90才でその生涯を閉じましたが、その生き方は奥利根の自然そのものであり、とにかく山を愛し、自然を愛した人でした。